



ちゅうりっぷぐみだより

2017年 3月 第5号

立春を過ぎて寒さも和らぎ、頬にあたる風も少しずつ暖かくなってきました。春の訪れを感じ、新しい季節を迎えて気持ちも楽しくなり、子ども達は笑顔を輝かせ、元気いっぱい走り回って遊んでいます。

残りわずかとなったちゅうりっぷぐみでの生活を大切にしながら、子ども達と楽しく過ごしていきたいと思えます。

保護者の皆様には、沢山のご協力を頂きありがとうございました。



1年間を振り返って

1年を通して自分で出来ることも増え、心身共にたくましく成長した子ども達。「家では甘えん坊で」「自分で何もやらなくて」なんて声も耳にしますが、保育園では何でも自分でやろうと頑張っている子ども達です。進級当初は、身の回りの事など保育士が手伝う事も多くありましたが、最近ではほとんど手伝うことなく、時間がかかることがあっても、自分で最後まで出来るようになりました。1年間を通して行ってきた体育ローテーションでは、走る、跳ぶことから始め、スキップ、ギャロップが出来るようになり、平均台も一人で渡れるようになりました。最近では、跳び箱にも挑戦中です。体を動かす事が大好きな子ども達は、色々なダンスも楽しんできて、音楽が聞こえてくるとすぐに体が動き出し、時には自分達で振り付けを考えながら楽しんでいきます。友達との関わりの中でも、思いが通らず涙を見せる事もありましたが、色々話をしながら一緒に遊びを考えて楽しむ事が出来たり、困っている友達に優しく声を掛けてあげたりする姿も沢山見られるようになりました。

何でも自分で出来るようになってくると、次へ次へと期待してしまっていますが、まずは頑張っている子ども達を沢山褒め、時には抱きしめてあげながら、これからの成長も見守っていききたいと思えます。

楽しかった思い出

進級当初からの子ども達の姿を写真を見ながら振り返ってみました。4月の写真はまだまだ幼い表情ですが、最近の写真を見てみると、様々な事を経験し、自信に満ち溢れた表情になっています。色々な事に挑戦し、自分で出来るようになったことも沢山増えました。1年間を振り返り、楽しかったこと、印象深かったことなどの話で会話が弾み、特に盛り上がったエピソード・ベスト2を紹介します。

3匹のこぶた

1年間を振り返り、最初に出て来るのはやはり『3匹のこぶた』です。パネルシアターで楽しみ、オオカミがこぶたを食べるために「遊ぼう」と来ると、優しい子ども達は「いいよ」とオオカミを入れてあげることもありました。オオカミになりきって「フー」と吹いたり、「オオカミ怖い」と言いながらもついつい見てしまったりと楽しんでいました。そして、運動会では偶然にも「こぶたのピクニックサンバ」で、「ブッブブー」と元気一杯踊り、誕生会での職員の音楽劇を見てからは毎日のように歌声が響いていました。自分で絵本を見ながら3匹のこぶたの話をしたり、ごっこ遊びの中にも取り入れて遊びました。2月になってからは、それぞれ役を決め、皆で考えながらこぶたの家を作り、劇ごっこを楽しんでいます。

替え歌大好き

恥ずかしがり屋の子が多いですが、面白い事を言ったりして皆を楽しませることが得意な子が多く、いつも大きな笑い声が響いています。特に歌は好きで、耳を澄ませて聞いていると替え歌を楽しんでいる事も多く、ついつい笑ってしまいます。なかでも人気なのは『さんぽ』『きらきらぼし』『PPAP』などです。最近では『ありがとうさようなら』がお気に入りのようです。子ども達の歌を聞いていると、原曲がわからなくなってしまうくらいとてもおもしろい歌に仕上がっています。